

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。					(単位：千円)			
13	財源内訳	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度				
			決算		決算		当初予算		当初予算				
		事業費 (a)		52,993		65,782		78,723		67,078		89,945	
		国支出金				936		1,280		0		5,850	
		府支出金										0	
		市債										0	
		その他 (日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金)		13,324		6,366		36,901		7,749		19,622	
		受益者負担金(使用料、手数料等)										0	
		一般財源		39,669		58,480		40,542		59,329		64,473	
		14	人件費 (b)		28,800		45,100		43,100		43,100		43,000
15	年間経費(c)=(a)+(b)		81,793		110,882		121,823		110,178		132,945		
事業費の内訳												(単位：千円)	
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源		
		堺市教育スポーツ振興事業団・堺市スポーツ協会、堺市スポーツ少年団補助金		R5	決算	35,067	35,067	スポーツ・運動習慣化事業	R5	決算	0	0	
				R6	予算	35,660	35,660		R6	予算	6,000	0	
		堺市民オリンピック開催負担金(コロナ対策費含む)		R5	決算	12,252	12,252	日本製鉄堺プレイヤーズ市章等掲載料	R5	決算	4,000	4,000	
				R6	予算	14,000	14,000		R6	予算	4,000	4,000	
		総合型地域スポーツクラブ運営・創設支援補助金		R5	決算	3,604	0	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク堺負担金	R5	決算	610	610	
				R6	予算	14,472	0		R6	予算	1,000	1,000	
		KIX泉州国際マラソン開催負担金		R5	決算	0	0	大浜体育館魅力創出事業負担金	R5	決算	2,000	2,000	
				R6	予算	5,641	5,641		R6	予算	1,000	1,000	
堺市学生スポーツ競技大会出場奨励金		R5	決算	3,400	0	その他	R5	決算	6,145	5,400			
		R6	予算	5,000	0		R6	予算	3,172	3,172			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和4年度	令和5年度
	①	市民オリンピック参加者数	人	2,791	936
	②	上記①にかかる年間経費	千円	12,457	12,252
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	4,463	13,090
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	・総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金は日本スポーツ振興センター助成金を100%充当して実施している。令和5年度は、補助対象の2団体（補助金額3,604千円）で計301回のスポーツ教室が開催され、延6,683人の参加があった。全額特定財源のため、費用対効果は高い。 ・堺市民オリンピックについては、雨天により開会式及び屋外競技が中止となり、屋内競技のみ実施となった。その結果、参加者数が大幅減となり、単位当たり経費が増額しているが、本来参加予定であった人数（4,761人）で算出すると、前年度より費用対効果は高くなっている。 ・子ども向けの体力測定会は大阪公立大学と連携して計2回実施した。2回目は定員を上回る応募があり、計180名が参加した。測定会では、保護者も子どもと体を動かすことができる取組を行うなど、大学の知見とネットワークを活かして事業を実施し、参加者へのアンケート調査でも高い満足度となった。 ・スポーツ・運動実施率の低いビジネスパーソン世代、子育て世代を対象に企業、区民まつりなどで体力測定会を引き続き実施した。ゼロ予算事業で、総勢991人が参加し、費用対効果は高い。また、前年に引き続き運動・スポーツへの関心向上のため、スポーツ部公式Twitterを活用した情報発信等コストをかけずに取組んでおり、費用対効果は高い。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	○ 総合型地域スポーツクラブ 設立・運営補助に加え、令和5年度も引き続き、日本スポーツ協会や大阪府スポーツ協会が実施する研修会や養成講座の受講経費の一部助成や、スポーツ教室の開催に必要な用具の支給事業を実施し、クラブの運営支援を行った。 ○ 堺市民オリンピック 令和5年度大会は、昨年度に続き、雨天のため一部種目（6種目中2種目）の開催となり、参加者数は936人とどまった。市内全校区が一堂に会し、地域交流や日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会となる堺市民オリンピックは、市民の日頃のスポーツ活動のモチベーションになりうるものであり、本大会が市民に「参加したい」と思われるような魅力的な大会になるよう、スポーツ推進委員をはじめ関係団体の意見を踏まえ、改善を図る。 ○ トップレベルチームとの連携 前年度に引き続き、ホームゲームを行う日本製鉄堺プレイヤーズと連携し、南海本線・堺駅への広告掲出や地元商店会の協力によるバナー、のぼりの掲出を実施することで、令和2年4月にリニューアルオープンした大浜体育館（大浜だいしんアリーナ）の魅力を広く内外に発信した。加えて、新たに南海電鉄車両の日本製鉄堺プレイヤーズのラッピング広告の実施や日本製鉄堺プレイヤーズによるプレシーズンマッチを昨年度の2倍となる2,000人を無料招待する内容で実施するなど、多くの方に大浜だいしんアリーナ及び周辺地域の魅力を知っていただくきっかけとなった。 ○ スポーツ推進委員を通じた地域スポーツ活動の推進 誰でも気軽に参加できるウォーキングフットボールの実技講習会等を実施し、新たな地域スポーツの普及に努め、指導力の向上を図った。また、卓球及びバレーボール大会を開催し、スポーツを通じた地域交流を行った ○ 子ども向け体力測定会 広報さかいやSNS等で広く周知し、合計180名の子どもが参加した。実施後には、保護者を対象にアンケートを行い、回答者の95%が提案されたおすすめスポーツの体験会があれば子どもを参加させてみたいと回答しており、子どもの運動機会の創出につなげることができた。